

# 取扱説明書 WizLaser<WZ05>

消費生活用製品安全法適合製品

## 重大注意事項

- ・レーザー光をのぞかないでください。
- ・レーザー光を人に向けしないでください。
- ・子供に使わせしないでください。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. 安全上の注意   | 2. 各部名称と表示       |
| 3. パネル表示と操作 | 4. レーザー照射手順      |
| 5. 充電方法と注意  | 6. デバイスパラメーター    |
| 7. 上手な使用方法  | 8. トラブルシューティング   |
| 9. 梱包内容     | 10. 保証規定（保証書は別紙） |

## 1. 安全上の注意

この製品には波長 650nm、レーザークラス 2 のレーザーが使われています。製品の取り扱いの注意を怠ると眼の網膜にダメージを受けることがあります。お使いになる前にこの説明書をよくお読みになり、製品の機能と禁止事項をしっかりとご確認ください。使用中に具合が悪くなった場合はすぐに使用を中止し、医師の診断を受けてください。機器本体に異常が見られた場合は、すぐに使用を中止し販売店にお問合せください。

### ◎防水仕様ではありません。

水を扱うとき、雨の日、水がかかりそうな場所での使用はできません。（下図のような環境で使用はできません。）



機器内に水が入ると、故障の原因になるとともに電気回路にショートを起こし、発火のおそれがあります。機器を水につけたり、水が浸入した可能性のある時は直ちに使用を取りやめて、メーカーに点検を依頼してください。（有償）

	<b>危険</b> 人が死亡または重傷を負う危険が、切迫して生じることが想定される内容を示します。
	<b>警告</b> 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	<b>注意</b> 人が障害を負ったり物的損害の発生が想定されている内容を示します。

### 図記号の例

	は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な注意事項は  の近くに文章や絵で表示します。左図の場合は、“分解禁止”を示します。
	この記号は強制（必ず守ること）を示します。具体的な強制内容は近くに文章や絵で示します。左の図は“特定しない”一般的な強制”を示します。

## 危険

- 下記のような医療用電子機器をお使いの方は絶対使用しないでください。
  - ・ペースメーカー等の体内埋め込み型医療用電子機器
  - ・人工心臓などの生命維持用医療電気機器
  - ・心電図などの装着型の医療用電子機器
 これらの医療機器の誤動作をまねき、生命に著しい障害をもたらす結果となります。
- 入浴中や浴室などの湿度の高いところでの使用はおやめください。強い電気ショックを受ける場合があります。

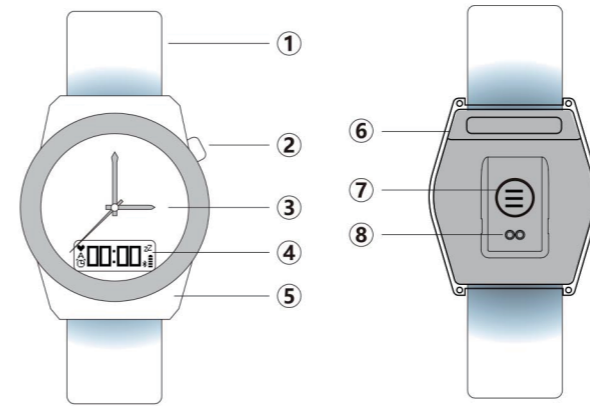
## 警告

- レーザー光を絶対に直接眼で見ないでください。また、いかなる光学機器やその他媒体を介しても見ないでください。他人や動物に光を向けしないでください。保管時もレーザー照射窓が人や動物のいる方向に向かないように、必ずスイッチを OFF にして付属の箱に入れて保管ください。非常に注意を払わなければならない状況にあるとき、例えば高所での作業、高圧電線近くでの作業、運転中など、間違っレーザー光を見てしまうと眩しさ、残像が残ることがありますので特にご注意ください。
- ご使用にならない時は、必ず照射ボタンを OFF にしてください。
- お子様、ペットが届くところに保管しないでください。
- 以下の方の使用は禁止されています。
  - 妊婦・出産直後、悪性腫瘍のある方、出血しやすい方、子供や自分で意思表示ができない方、飲酒中の方、心臓・脳神経に異常のある方、脳梗塞・心筋梗塞、心臓疾患がある方、急性疾患、有熱性疾患、感染性疾患、感覚・知覚に障害がある方、疲労の激しい方、皮膚に異常のある方、光の作用に弱い方。
  - 医師の治療を受けている方、通院中、薬を服用している方。また、その他体調のすぐれない方は医師にご相談の上ご使用ください。
  - 手首に装着してご使用ください。4. レーザー照射手順参照。
  - 以下の部位には使用しないでください。通常と異なる皮膚には使用しないでください。手術の跡の部位、皮膚病変、刺青のある部位。また、指定された装着部位以外、例えば眼の周り、粘膜、心臓の上、甲状腺、性腺などには決して使用しないでください。
  - 身体に金属（ステント、ボルト、刺青の金属塗料など）を有する方は使用の可否を医師にご相談ください。
  - 予期せぬレーザー光の暴露を避けるため装着した状態で ON/OFF スイッチを操作してください。
  - 他人に使用しないでください。
  - 金属アレルギー、光アレルギー、その他アレルギー症状のある方は使わないでください。
  - 充電中は使わないでください。
  - 裏ページ 5. 充電方法と注意を読んで、正しく安全に充電してください。
  - 強い磁気・電磁波のあるところに近づけないでください。デバイスを落としたり、押さえつけたりなど衝撃をあたえないでください。
  - 本体や充電部に汗、水分がついたときは、柔らかい布でふき取ってください。その際、皮膚から離すときには必ず電源を OFF にしてから外してください。
  - 付属のアダプター、USB ケーブル、充電キャップをご使用ください。アダプター、コードに傷みがある場合、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。充電用備品も水が入らないようにご注意ください。コードを結んだり、傷つけたり、引っ張ったりしないでください。火災、感電、ショート、やけどの恐れがあります。
  - 動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源を切り修理を依頼してください。（加熱、ショートなどによる事故、トラブル、故障につながる原因となります。）
  - 他の機器と同時使用しないでください。
  - 水の中に入ったり、湿度の高い場所での使用・保管はしないでください。濡れた手で触らないでください。防水仕様ではありません。事故、故障の原因になります。
  - ぬれた手で充電や、製品、USB ケーブル、アダプターを扱わないでください。電気ショックが起こることがあります。
  - 自分で修理、分解、改造をしないでください。故障、事故の原因になります。リチウムポリマー電池を使用しております。取り換えには特別な操作・器具が必要です。絶対に自分で取りかえようとしないでください。故障・事故の原因となります。

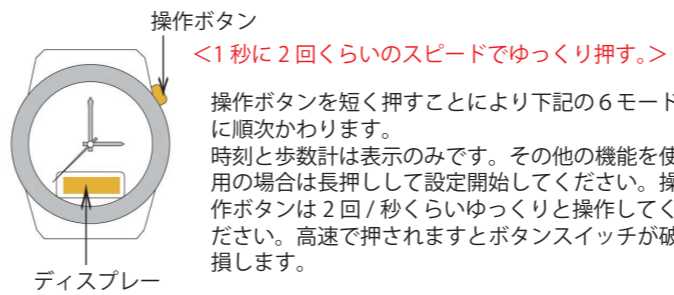
## 注意

- お手入れは乾いた布、水をしっかり絞った布で拭いてください。水・湯・シンナー・アルコール・ベンジンなどの溶剤、薬品類を使用しないでください。
- 必ず付属の充電装置セットをお使いください。
- 完全に充電したら、丁寧に充電キャップ、USB ケーブル、アダプターを外して下さい。充電状態で放置しないでください。
- しばらくお使いにならなかった場合、バッテリーの交換を含めた保守・点検をご依頼ください（有償）。
- 次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。直射日光が当たる場所、高温多湿の場所、水のかかる場所、ほこりの多い場所、火気の近く、振動衝撃の加わりやすい場所、強電磁界下。

## 2. 各部名称と操作



- |              |            |
|--------------|------------|
| ① リストバンド     | ⑤ 上部時計フレーム |
| ② 操作ボタン      | ⑥ レーザー照射窓  |
| ③ 時計アナログ針    | ⑦ 脈拍センサー   |
| ④ デジタルディスプレイ | ⑧ 充電接続部    |



## 3. パネル表示と操作

現在の時刻とバッテリー残量	
レーザー照射モード	
脈拍検出モード	
歩数確認モード 00:00 にリセットされます。	
デジタル時計調整モード	
アナログ時計調整モード	



### 心拍数の測り方

心拍測定モードになったら、操作ボタンを長押ししてください。脈拍測定が約3分間始まりです。その際、デバイスの裏にある脈拍センサーから緑の LED が点滅します。  
\*医療機器ではありませんので、参考としての数値です。センサーがあたる部分の瞬時の脈拍を測定していますので、アベレージではありません。

## デジタル時計の合わせ方

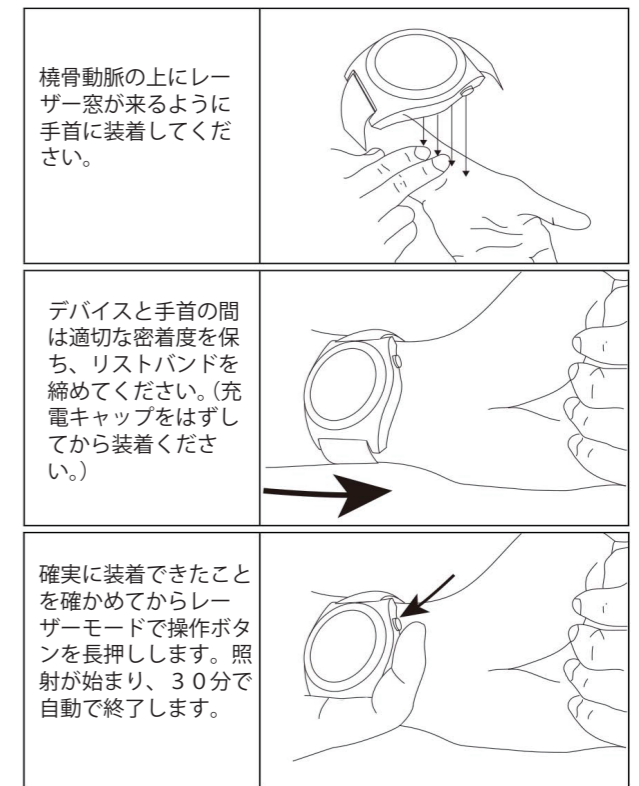
操作ボタンを短く押し、デジタル時計設定モードまで進め、長押しで決定します。OK が点滅します、さらに長押ししていただくと、時刻設定できるところが点滅しますので、ボタンで数字をすすめ、時/分/秒へと長押しで進み、最後に OK を点滅させその後を短く押ししてください。時刻が決定され、同時にアナログ時計が自動で正確な時刻まで動きます。電波時計ではありませんので時刻の誤差がでます。製品の特性上デバイス内の温度変化が起こります、デバイスの環境により誤差が大きくなることもあります。

## アナログ針の合わせ方

通常は触る必要はありません。デジタル時刻とアナログは同期して動きますので、通常はデジタル時計のみ合わせてください。自動で針が動きます。万一間違っアナログ設定を長押しした場合、手動で合わせます。すべての針は 60 進法です。時の針も分・秒の針の読み方と同様に読んで、現在針が差している間違った時刻にスクリーンの数字を合わせて、最後に OK を短く押ししてください。デジタル時計に同期します。

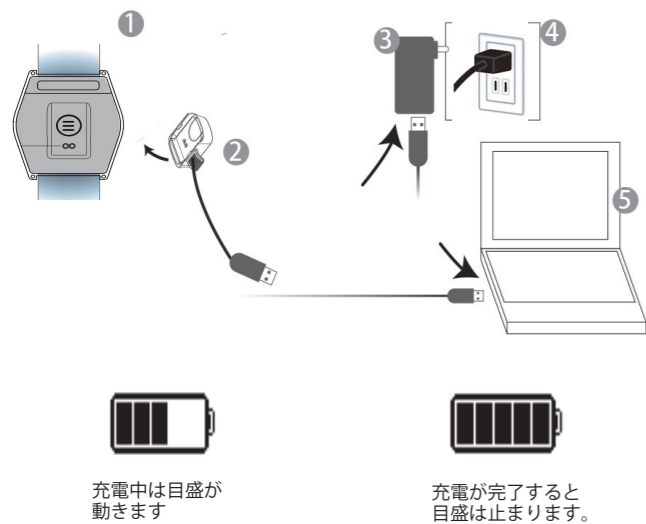
## 4. レーザー照射手順

デバイスを装着してからレーザー照射を開始し、レーザーが照射していないことを確認してから手首から外してください。



レーザーモード、もしくはトップ画面になったら、ボタンを3秒間長押ししてください。レーザー照射マークに変わり照射が始まります。数字は残りの分数を示します、30分で自動で照射が終了するように設定されています。照射を終了したいときはいつでもレーザー照射モード、デジタル時刻表示モードで操作ボタンを長押ししていただくこと終了します。

## 5. 充電方法と注意



充電量のインジゲーターが少なくなりましたら、充電してください。充電キャップ②を本体①の裏にある充電接続部にはめてください。さらに USB ケーブル・アダプターに接続して充電を始めてください。充電中はインジゲーターが動き、充電完了したらインジゲーターは止まります。充電が完了しましたらすみやかに充電キャップを外し、コンセントからアダプター、USB ケーブルを抜いて充電を終了させてください。充電量が不足するとレーザー照射などの機能が一時停止します。

充電は発火などの不測の事態に備えるために、監視できる状態でのみ行ってください。充電したまま外出、就寝はしないでください。燃えやすいものの近くでは充電しないでください。デバイス・アダプター・ケーブルなどに熱を感じたり、異常を感じた場合は直ちに充電を中止し、販売店、メーカーにお知らせください。中に水が浸入した状態で充電すると非常に危険です。デバイスは水の入らない状態でご使用ください。ご購入時は 5 回くらい照射できます、バッテリーの容量が 1 目盛りくらで充電すると充電完了するまでに 2-3 時間かかります。(バッテリーの劣化により状況は変わります。)

\*過剰な充電、急速充電、日の当たるところや熱いところに放置する、上に物がかぶさった状態で充電するなどは故障・事故の原因になり危険ですので絶対におやめください。また、バッテリーの容量がゼロのまま放置（過放電）しますと、バッテリーの劣化・破損、さらには機器の破損につながります。使用しないときでも時々充電をし過放電を防いでください。尚、アダプター、USB、充電キャップは付属のものをお使いください。バッテリーは使用状況にもよりますがバッテリー保存容量が徐々に減ってきます。2 年くらいで交換されることをお勧めします。(有償)

### ●充電キャップの脱着について

装着するときは、充電キャップの下部にあるストッパーを本体のくぼみに入れてから上部を押さえてください。

取り外すときは、ストッパーの折れを防ぐために、レバーを矢印のほうにいてから、持ち上げてください。



## 6. デバイスのパラメーター

レーザー波長	650nm±10nm
レーザー出力	≤1mw (日本 PSC 測定方法)
信号	矩形波
手動設定レーザー放出時間設定	30 分
画面	液晶ディスプレイ
内部電圧	3.7V
入力電圧	DC5V
使用環境	気温 5℃～40℃ 湿度 80%以下 気圧 500 h Pa ～ 1060 h pa

## 7. 上手な使用方法

- ・ご使用前にはしっかりと水分を補給しましょう。
- ・日に 1～2 回のご使用をお勧めします。
- ・5～7 日使用されましたら、2～3 日使用をおやすみしましょう。
- ・使い始めは短い時間での照射を始めましょう。

## 8. トラブルシューティング / 故障かなと思ったら

Q. レーザーが出ない。

A. 充電容量が少ない又ははない。→充電してください。

Q. レーザーが途中で止まる。

A. 充電容量が少ない又ははない。→充電してください。

Q. 時計のデジタル表示が現在時刻と違う。

A. 電波時計ではありません、クォーツムーブメントを使用しております。製品の特異内部構造、レーザー照射による温度変化などにより通常のクォーツ時計より月差が大きくなる場合があります。  
→2 各部名称のデジタル時計の合わせ方をご覧ください。

Q. 時計のアナログ針が合わない。

A. 通常はデジタルと同期して動きます、デジタルを合わせれば針も動きますので、デジタルと同じ時刻を指します。針の設定を長押ししてしまうとアナログの針の位置がずれてしまいます。  
→2. 各部名称と操作のアナログ針の合わせ方をご覧ください。

Q. 充電できない。

A. 充電器がしっかりと差し込まれていない。  
→各接続部を接続しなおしてください。

Q. スイッチを押しても反応しない。

A. スイッチの破損、内部電気系統に不具合がある可能性があります。  
→使用をやめ、お買い求めの販売店にご相談の上、メーカーに修理を依頼してください。

以上を試しても改善しない場合は、お買い求めの販売店またはメーカーに修理ご相談ください。

## 9. 梱包内容

①デバイス ②リストバンド ③USB ケーブル ④充電キャップ ⑤アダプター ⑥保証書 ⑦取扱説明書 ⑧化粧箱 (PU)

お手元に届きましたら、不足しているものがないかご確認いただき、破損、不足がございましたら、恐れ入りますが 1 週間以内にお買い上げ店までご連絡いただきますようお願いいたします。

## 10. 製品保証について

ご購入後 1 年以内のレーザーデバイス本体の故障は保証規定に基づいて無償にて本体交換、部品交換、修理いたします。不良品交換、修理の際はお買い上げ店の署名、捺印、購入日、シリアル番号の入った保証書原本がなければ対応ができませんので、保証書は大切に保管してください。再発行はいたしません。\*本製品の保証は日本国内での使用に限ります。品質向上のため、予告なく仕様変更されることがあります。

This warranty is valid only in Japan.

## 保証規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には対象デバイスあるいは備品の交換または修理をさせていただきます。交換・修理の選択は弊社にて決定いたします。
2. 保証規定該当はデバイス本体、アダプター、USB ケーブル、充電キャップです。リストバンド、PU ボックスは対象外となります。
3. 保証期間内に故障して修理を受ける場合は、製品に別紙保証書を添えてお買い上げの販売店に依頼してください。
4. 無料期間内でも次の場合は有償になります。イ) 使用上の誤り、お客様の不注意による破損、内部への水の侵入、不当な修理や改造による故障、損傷。ロ) 落下、衝撃等による事故及び破損。ハ) 火災・地震・水害・落雷、その他天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の充電器使用（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。ニ) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。ホ) 別紙保証書に販売店による記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
5. 保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。
6. 保証書は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償交換、修理をお約束するものです。従って保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。無償期間経過後の修理等については有償でお受けさせていただきます。
7. 保証書に記載された個人情報は対象製品の保守サービス・安全点検の行う場合に必要な範囲で弊社に開示されます。

製品機能向上のため、予告なしに製品の変更が行われることがあります。無断で説明書をコピーすることは禁じられています。

携帯用レーザー応用装置  
届け出事業者 株式会社シーワンテック  
証明書番号 AP 19 12 001